

研究機関名：東北大学

1.受付番号	2019-012
2.研究課題名	OS 言語・手話言語からみた、語順選好の普遍性と個別性に関するフィールド認知脳科学的研究
3.研究期間	2020 年 3 月（部局長承認後）～ 2025 年 3 月 31 日
4.研究の概要	<p>意義・目的（研究の背景・目的や倫理的項目についての的確に記すこと。）</p> <p>主語(S)が目的語(O)に先行する SO 語順が、その逆の OS 語順に比べて、処理負荷が低く母語話者に好まれる傾向があること（SO 語順選好）が多くの研究で報告されている。しかし、従来の文処理研究は日本語や英語のように SO 語順を基本語順にもつ音声言語（音声 SO 言語）を対象にしている。そのため、SO 語順選好が個別言語の基本語順を反映したものなのか、あるいは人間のより普遍的な認知特性を反映したものなのか、また SO 語順選好が音声言語に特有なのか手話言語にも当てはまるのか、が分からない。これらの問題を解決するためには、OS 言語（OS 語順を基本語順に持つ言語）や手話言語で検証を行う必要がある。そこで、本研究では、音声 SO 言語（日本語、トンガ語、英語、中国語）、消滅が危惧される音声 OS 言語（タロコ語、カクチケル語、マダガスカル語）、ならびに手話 SO 言語（日本手話）を比較対照することによって、人間言語における語順選好を決定する要因の解明を目指す。</p> <p>方法</p> <p>各言語の健常な 20 歳以上の母語話者（手話の研究では聾者を含む）が様々なタイプの文を理解したり産出したりしている際の脳活動を、脳機能計測（脳波、近赤外分光法、機能的磁気共鳴画像法）を用いて計測・分析し、人間言語における語順選好を決定する要因を探る。</p> <p>謝金は各国の経済水準を考慮し、東北大学ならびに各国の研究協力機関の規定などに準拠して、所要時間に応じて支払う。</p> <p>問い合わせ・苦情等の窓口（講座・研究室の連絡先を記入し、研究者の個人名は記入しないこと）</p> <p>東北大学大学院文学研究科言語学研究室（022-795-5983） 東北大学川内南地区「人を対象とする医学系研究」 倫理審査委員会事務局（022-795-6103）</p>